

小中学校の規模適正化と適正配置についてお尋ねいたします。

新居浜市は平成29年5月に、今後の学校の在り方に関する検討委員会を設置され、文部科学省が公表している公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引などを参考にされ、少子化に対応した活力ある学校づくりに向け、令和3年2月までに計14回にわたり会議を開催され、令和3年3月に新居浜市今後の学校の在り方について答申を受けました。

教育委員会は答申を受け、新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画を策定されていると思います。

現在、川西地区に小学校5校と中学校3校、川東地区に小学校5校と中学校2校、上部地区には、小学校、中学校ともに5校が立地し、子供たちの教育が行われています。

そして、地区ごとの規模適正化基本計画（案）を立て、保護者や地域の方々の声に耳を傾け、理解を得ながら検討、実施するとされ、令和5年度を初年度とする30年とし、前期、後期の各15年に分け設定し、必要があれば見直し、児童生徒の推移、校舎の建て替えや長寿命化改修の時期等を考慮して進めていくと報告されています。この計画案は、学校、保護者、地域など関係機関と意見交換されていれば、それも含めて以下お伺いします。

1つ目は、川西地区において、適正規模、適正配置のイメージのお考えで、新居浜小学校と宮西小学校を統合し新小学校、北中学校、西中学校を統合し新中学校のようだが、どのように進めていかれるのかお伺いいたします。

2つ目は、川東地区において、適正規模、適正配置のイメージのお考えで、浮島小学校について、高津小学校及び垣生小学校への統合について、どのように進めていかれるのかお伺いいたします。

最後に3つ目として、上部地区において、適正規模、適正配置のイメージのお考えで、大生院小学校と大生院中学校との小中一貫教育校設置、船木小学校と船木中学校との小中一貫教育校設置についてどのように進められていますか、お伺いいたします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。高橋教育長。

○教育長（高橋良光）（登壇） 小中学校の規模適正化と適正配置についてお答えいたします。

教育委員会では、令和5年4月に策定いたしました新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画に基づき、子供たちのよりよい教育環境の実現のために、規模適正化、適正配置の取組を進めているところでございます。

川西地区におきましては、まず新居浜小学校、宮西小学校及び関係団体の代表者で構成される北中校区学校運営協議会に対しまして、先月、基本計画に関する説明会を実施いたしました。今後は保護者や地域住民の皆様にも順次説明会を実施するなどの取組を進めていく予定でござい

ます。

次に、川東地区におきましては、浮島小学校において、令和５年度から校区説明会やアンケート調査等を実施し、取組を進めているところでございまして、保護者や地域住民の皆様、関係者の皆様との合意形成を図りながら、方針を決定する予定でございます。

次に、上部地区におきましては、大生院地区及び船木地区において、小中一貫教育校をそれぞれ設ける計画でございますが、想定以上に少子化が進んでおり、今後は基本計画の見直しも念頭に、取組を進めていくことが必要であると考えております。

教育委員会といたしましては、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図るため、保護者や地域住民の皆様への丁寧な説明と十分な対話を通じ、共通理解を図りながら、小中学校の規模適正化、適正配置の取組を進めてまいります。

○議長（小野辰夫） 山本健十郎議員。

○１８番（山本健十郎）（登壇）
この問題は非常に子供たち、また地域、父兄にとって、大変な問題なんです。隣の行政区のように、非常にたくさんの合併というのは、新居浜市の場合はないようなので、ひとつ丁寧な地域、PTA、学校等への対応をよろしく願いして、この質問を終わります。